

令和2年度

# 東オホーツクシーニックバイウェイ

1. ルート運営活動計画の進捗状況
2. 活動団体の活動状況及び課題
3. ルート運営活動計画の推進体制の状況及び課題
4. ルート運営行政連絡会議の取組状況及び課題

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称:東オホーツクシーニックパイウェイルート	報告者:東オホーツクシーニックパイウェイルート 代表 桜井 あけみ	報告年月日:2021/5/12
---------------------------	-----------------------------------	-----------------

ルート (エリア) 運営活動計画方針	ルート (エリア) 運営活動計画活動内容	R2							
		No	活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況資料番号	総括	
景観づくり	オホーツク海・斜里岳・知床連山・田園風景を美しく見せる(美しい沿道の保全・啓蒙)	小清水原生花園、以久科原生花園の保全(ネナシカズラの除去等)	-	-	-	-	-	-	新型コロナウイルス拡大のため一部が中止となった。
		沿道の一斉清掃活動の実施	1	ウトロ沿道に花を植えよう	しれとこウトロ・フォーラム21	令和2年6月13日	80名 ・主催者10名 ・一般参加70名		
		冬期の沿道景観の向上	2	ガードレールの雪かきボランティア	しれとこウトロ・フォーラム21	令和3年2月5日	148名 ・主催者10名 ・一般参加138名		
	鮮やかな四季の色彩を見せる(花の沿道の創出・連携や植物群生の保全)	網走湖周辺の水芭蕉の保全活動	-	-	-	-	-	-	秀逸な道パネル展以外は事業予算等が少なかったことから、他活動を優先した。今後は、活動方針の見直しを図るとともに資金をあまり必要とせず実現できる取り組みの実施、支援金システムによる活動支援を行ってきたい。
		花を見る木道づくりの推進	-	-	-	-	-	-	
		東オホーツク花カレンダーの作成	-	-	-	-	-	-	
		東オホーツク花シンポジウムの実施	-	-	-	-	-	-	
			3	秀逸な道パネル展	美幌歩こう会	令和2年9月4日～	-	-	
	ビューポイントを再発見・創出する	景観探しツアーの実施	-	-	-	-	-	-	各方針別の活動内容について、今年度はあまり活動が行われていない状況であるが、ガードレールの除雪実施については、オホーツク海の良好な景観を観ることができるため大変好評である。費用がかかることではないが、人的な力を必要とするため、今後は、他機関との連携を図りつつ継続的に実施したい。また、景観写真の更新時期に来ているため、今後は積極的に撮影・ストックを行ってきたい。
		東オホーツクフォトコンテストの実施	-	-	-	-	-	-	
ビューポイントの再発見及び創出とビューポイントマップづくり		-	-	-	-	-	-		
ビューポイントパーキングの拡充と保全		4	ガードレールの雪かきボランティア	しれとこウトロ・フォーラム21	令和3年2月5日	148名 ・主催者10名 ・一般参加138名			
地域資源の洗い出しマップの作成とバス発掘ツアーの実施		-	-	-	-	-	-		
	シーニックデッキの保全	5	シーニックデッキの維持管理	清里町商工会、NPO法人きよさと観光協会、上斜里フラワーロード推進協議会、清里町花と緑と交流のまちづくり委員会、大空観光協会、小清水観光協会、網走観光協会	令和2年4月～10月	15名 ・主催者15名	A - 1		
地域づくり	楽しみの創出(東オホーツク文化・ライフの追求)		6	シーニックマルシェin斜里	東オホーツクシーニックパイウェイ連携会議	令和2年9月3日～9月4日	約420名 ・主催者20名 ・一般参加400名	A - 2	新型コロナウイルス拡大のため一部が中止となった。
		先住民フォーラムの実施	-	-	-	-	-	-	
		植林事業等の実施	-	-	-	-	-	-	
		温泉情報マップの作成	-	-	-	-	-	-	
		文化施設等との連携による文化発信	7	道の駅スタンプラリー	東オホーツクシーニックパイウェイ連携会議	令和2年4月15日～11月3日	-	A - 3	
		フットパスづくり	-	-	-	-	-	-	
		オホーツクパーボンの研究	-	-	-	-	-	-	
	外国人交流の実施と誘致	-	-	-	-	-	-		
		スポーツイベントの実施	8	きよさとフリーサイクリング(グランフロント開催が難しかったため代わりのイベントとして開催)	グランフロント北海道in清里実行委員会(主催) 特定非営利活動法人きよさと観光協会(主管)	令和2年7月1日～9月30日	125名 ・主催者20名 ・一般参加105名		今後は、活動方針の見直しを図るとともに資金をあまり必要とせず実現できる取り組みの実施、支援金システムによる活動支援を行ってきたい。
	地域連携による地域情報の発信	活動団体向けニュースペーパーの発行	-	-	-	-	-	-	
HPの創出と各町観光情報とのリンク		-	-	-	-	-	-	HPの効果が疑問視されており、SNSへの移行準備を検討している。	

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称:東オホーツクシーニックパイウェイルート	報告者:東オホーツクシーニックパイウェイルート 代表 桜井 あけみ	報告年月日:2021/5/12
---------------------------	-----------------------------------	-----------------

ルート (エリア) 運営活動計画方針	ルート (エリア) 運営活動計画活動内容	R2									
		No	活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況 資料番号	総括			
観光振興	風を感じさせるマグネットポイントの創出	シーニックデッキの創出	9	ウトロポケットパーク	しれとこウトロ・フォーラム21	令和2年5月上旬～11月末	約300名 ・主催者10名 ・一般参加290名		シーニックデッキの設置は、補修の必要性等を把握して適切な数で今後も継続的に実施を行っていきたい。		
			10	あばしりフロック公園	東オホーツクシーニックパイウェイ連携会議	令和2年4月上旬～9月上旬	約300名 ・主催者8名 ・一般参加292名				
			11	メルヘンの丘 (女満別)	東オホーツクシーニックパイウェイ連携会議	令和2年4月下旬～10月末頃	約400名 ・主催者8名 ・一般参加492名				
			12	季風クラブ (ウトロ)	東オホーツクシーニックパイウェイ連携会議	令和2年4月下旬～10月末頃	約300名 ・主催者8名 ・一般参加292名				
			13	コスモスロード (上斜里)	東オホーツクシーニックパイウェイ連携会議	令和2年4月下旬～10月末頃	約400名 ・主催者8名 ・一般参加392名				
			14	コミット (水元町)	東オホーツクシーニックパイウェイ連携会議	令和2年4月下旬～10月末頃	約200名 ・主催者8名 ・一般参加192名				
			15	斜里岳山小屋清岳荘	東オホーツクシーニックパイウェイ連携会議	令和2年6月中旬～9月下旬	約200名 ・主催者8名 ・一般参加192名				
			16	小清水リリーパーク	東オホーツクシーニックパイウェイ連携会議	令和2年7月中旬～9月上旬	約200名 ・主催者8名 ・一般参加192名				
			-	流水茶屋、湖畔茶屋、山の茶屋の創出	-	-	-	-		-	
			-	サケ・サクラマスを見れる拠点の創出や清掃	-	-	-	-		-	
各地毎の滞在メニューの創出・連携	東オホーツクウォーキングルートの選定とフットパスづくり	17	冬の屈斜路湖カルデラトレイル (美幌峠) スノーシュートレッキングツアー	美幌地区三町広域観光協議会 (事務局 美幌観光物産協会)	令和2年2月27日	約70名 ・主催者8名 ・一般参加62名		新たな観光体験型のメニューとなりえる活動など、今後の観光振興に期待の持てる取り組みが行われているので、今後の継続した活動と連携を積極的に図っていききたい。新型コロナウイルス拡大のため一部が中止となった。			
		-	-	-	-	-	-				
		-	ホーストレッキングルートの選定	-	-	-	-		-		
東オホーツク型観光の研究	東オホーツク観光塾の創出	18	流水ウォーク	NPO法人知床ナチュラルリスト協会	令和3年1月24日～3月30日	約200名 ・主催者8名 ・一般参加192名		新たな観光体験型のメニューとなりえる活動などの実施について調査・研究を行っていききたい。			
		-	馬やバルーン景観の研究	-	-	-	-		-		
		-	東オホーツクトラベルの研究	-	-	-	-		-		
		-	東オホーツク観光塾の創出	-	-	-	-		-		
-	東オホーツクエリアガイドの育成と仕組みづくり	-	-	-	-	-	-				

# 東オホーツクシーニックバイウェイ

例) TOKACHI Scenic Byway

活動名：「シーニックマルシェ」in網走、斜里、清里

- 【概要】 シーニックデッキの周知徹底のため、通常設置している数カ所から人の多く集まる箇所（道の駅1箇所）にデッキを集約し、『シーニック・マルシェ』を開催。地元でとれた野菜や果物、地域特産品などの販売を行った。
- 【日時・場所】 9月3日～4日：道の駅うとろ・シリエトク 参加者：420人（主催者20名、一般参加400人）
- 【主催】 東オホーツクシーニックバイウェイ連携会議
- 【参加団体】 網走市観光協会、小清水町観光協会、東藻琴観光協会、清里町商工会、きよさと観光協会、上斜里フラワーロード推進協議会、清里町花と緑と交流のまちづくり委員会、知床斜里町観光協会



# 東オホーツクシーニックバイウェイ

例) TOKACHI Scenic Byway

活動名：『シーニックデッキの創出』

【概要】 景観の良い駐車スペースのあるポイントに、シーニックデッキを設置し旅行者などがゆっくりと景色を眺め休憩する事により、東オホーツク地域全体の景観PRをはじめ地域との交流が進んで行く。また、農産物等の特産品販売等、コミュニティビジネスの創出の可能性も高まる。更に道路利用者のオアシスとして交通安全に寄与する。

【設置箇所】 ウトロポケットパーク、あばしりフロックス公園、メルヘンの丘（女満別）、季風クラブ（ウトロ）、コスモスロード（上斜里）、コミット（清里）、斜里岳山小屋清岳荘（清里）、小清水リリーパーク

【主催】 東オホーツクシーニックバイウェイ連携会議

【参加人数】 約2,300人（8箇所）



大空町メルヘンの丘のシーニックデッキ



清里町清岳荘のシーニックデッキ

# 東オホーツクシーニックバイウェイ

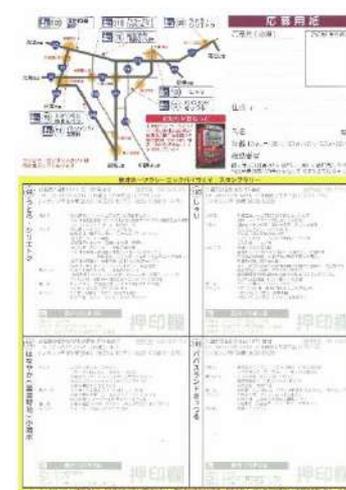
例) TOKACHI Scenic Byway

活動名：ルート内道の駅スタンプラリー

- 【概要】 ルート内の回遊性向上、ルートの認知度向上の目的から、ルート内8道の駅を対象としたスタンプラリーを実施した。アンケート（1,100人）結果からは今まで知らなかった地域情報を得ることができた、集めるのに丁度よい数等の好評の感触を得た。
- 【期間】 4月15日～11月3日
- 【実施場所】 東オホーツクシーニックバイウェイエリア内自治体8道の駅
- 【主催】 東オホーツクシーニックバイウェイ連携会議
- 【協力】：コカコーラ(株)網走営業所
- 【参加人数】：1,100人（内当選者26人）
- 【商品】：完全制覇賞：8道の駅特産品詰め合わせ×2名、各駅賞：8道の駅それぞれの特産品×16名、コカ・コーラ賞×6名、シーニック賞×2名



表面



裏面



4. ルート運営行政連絡会議の取組状況及び課題

ルート名称: 東オホーツクシーニックバイウェイルート	報告者: 網走開発建設部	報告年月: 2021/5/12
----------------------------	--------------	-----------------

	ルート(エリア)運営活動計画方針	平成30年度の活動内容	活動実施日	実施機関	成果及び課題	総括	活動No
景観	オホーツク海・斜里岳・知床連山・田園風景を美しく見せる (美しい沿道の保全・啓蒙)	ガードレールの雪かきボランティア	令和3年2月5日	しれとこウトロ・フォーラム21	冬季のオホーツク海流水の良好な景観を走行中の車両から楽しめるようにするため、斜里町及び網走開発建設部の関係職員も参加して、ガードレールの除雪を行った。	これらの活動の多くは、年を経るにつれて、地域イベントとして地元住民等に認知されてきたように感じる。今後とも当部を含めた行政機関の関係職員による積極的な参加体制を構築していきたい。	1
	鮮明な四季の色彩を見せる (花の沿道の創出・連携や植物群生の保全)	ウトロ沿道に花を植えよう	令和2年6月13日	しれとこウトロ・フォーラム21	網走開発建設部によるVSP(ボランティア・サポート・プログラム)の一環として、SBW活動団体「しれとこウトロフォーラム21」の主催により、道の駅「うとろ・シリエトク」周辺の一般国道334号沿線上での植栽活動が行われた。なお、花苗等については、網走開発建設部が提供した。		2
		秀逸な道パネル展	令和2年9月4日～	美幌歩こう会	秀逸な道のPRとしてR243秀逸な道試行区間の良好な景観、SBWや秀逸な道のしくみで構成されたパネルの展示を峠の湯びほろで行った。網走開発建設部では、SBWや秀逸な道パネル提供、パネル設営の協力を行った。		3
	ビューポイントを再発見・創出する	「流水展望ひろば」設置への協力	平成31年1月30日～ 2月28日	網走開発建設部外	地域協働の一環として、雄大な流水景観などを楽しむことができる流水展望広場を期間限定で斜里町日の出地区に設置した。網走開発建設部では、チラシ作成で周知の協力を行った。		4
地域	楽しみの創出(東オホーツク文化・ライフの追求)	シーニックマルシェin斜里	令和2年9月3日～9月4日	東オホーツクシーニックバイウェイ連携会議	ルート内の特産品やSBW活動を観光客にPRし、観光客の購買によりルート内商工業者にインセンティブを与える目的から道の駅ウトロ・シリエトクにてシーニックマルシェを開催した。網走開発建設部では、会場設営・運営・撤去補助を行った。	5	
	農・水・林・地域文化資源の発掘と連携	シーニックパネル展の実施	年3回開催	網走開発建設部	観光PRの一環として道の駅ぐるっとパノラマ美幌峠(美幌町)、北洋銀行網走支店(網走市)、きよさと情報交流施設きよ〜る(清里町)でシーニックバイウェイパネル展を実施した。	行政機関として観光PRについても積極的に支援していきたい。	6
	地域連携による地域情報の発信	東オホーツク・知床エリア「ヒヤリ・ハットマップ」の作成	年2回発行	網走開発建設部	道路利用者に対する車両走行時の注意喚起を促すことを目的に、東オホーツク・知床エリアの「路線連絡会議」構成団体による取組として、当該エリア内の「ヒヤリ・ハットマップ」をに作成し、SBWルート内の道の駅や女満別空港付近のレンタカー窓口、観光施設等での配布を行った。なお、「路線連絡会議」構成団体には、東オホーツクSBWの行政連絡会議も参加しており、網走開発建設部が中心となって、「ヒヤリ・ハットマップ」を作成した。	これらの取組は、道路利用者に対する注意喚起等を促すものであるが、回数を経る毎に地元における認知度が上がっていると思われるので、次年度以降も継続して行うと共に、近年増加している外国人を対象とした外国語版の作成を行っていきたい。	7
観光							